



子育て通信 かなりや

発行 第299号 2020.9.1.

時津町子育て支援センター『こぼとの家』
長崎県西彼杵郡時津町西時津郷 1000-10
支援センター TEL095-882-7455
保育園 TEL095-882-4559
FAX095-882-4910
ホームページ
<http://www.togitsukobato.jp>

『人と人の気持ちのつながり』

時津こぼと保育園
園長 嘉村 望

僕にできる事
君にできる事
僕らにできる事
小さくてもいい
一つずつ

閉ざされたこの部屋からでも
こうして繋がり合える
その声をその温もりを
離れていても
僕らは感じられる

もっとももっとも
一つになれば
まだ間に合うさ
もっとも
We Are A Family
一つになれば
まだ間に合う

僕らにできる事がある
小さくても一つずつ
未来はきっとあるから
一つになればまだ間に合うさ
今歌いたい歌がある
大きな願い繋げていく
未来はきっとあるから
一つになれば

環境変わり不安が誘い
未来が静かに崩れていくとしても
守りたい愛する君と何度でも
築き上げるさ全てに意味がある

何を信じてどこに向かって
訳も分からず暗い部屋の中で
つけばなしのTVの向こうには
言葉のない世界が

現実さえも受け入れずに
知らないうちに人を傷つけたり
根拠のない『大丈夫』なんて
希望と涙が溢れるから

もっとももっとも
一つになれば
まだ間に合うさ
もっとももっとも
一つになれば
まだ間に合うさ

今はとにかく安全に Stay Home
不安な時こそ We Gotta Stay Strong
大切な人を守るために
気持ち合わせ重ねたメロディー
We Are One Big Family
未来への鍵は僕らの手に Oh Yeah
この地球の Everyone
敵も味方もないぜ We Are One

僕らにできる事がある
小さくても一つずつ
未来はきっとあるから
一つになればまだ間に合うさ
今歌いたい歌がある
大きな願い繋げていく
未来はきっとあるから
一つになれば

もっと見たい君の笑顔
もっといたい With You Forever More
だからこそ目をそらさない
Cause I Need You
Cause I Need You Ey

不意な News に不安になりどうにも
ならない日も You Know We Gotta Going On
楽しみにしてるまた君と会える日
また伝えたい『君が大好き』

知らず知らずの間に
急に閉じ込められて不安な日々
イライラ募る毎日の中
届いた音 My Time
今はまだ咲かない花
希望を託した Hope 種を巻いた
また会いたいから今日は会わない。
That's Righ Tee Time

僕らにできる事がある
小さくても一つずつ
未来はきっとあるから
一つになればまだ間に合うさ
今歌いたい歌がある
大きな願い繋げていく
未来はきっとあるから
一つになれば

(Let's Come Together)
僕らにできる事がある
(Let's Come Together)
小さくても一つずつ
(Let's Come Together)
未来はきっとあるから
(Let's Be One Let's Be One)
一つになればまだ間に合うさ

(Let's Come Together)
今歌いたい歌がある
(Let's Come Together)
大きな願い繋げていく
(Let's Come Together)
未来はきっとあるから

～Be One 僕らにできる事～
アーティスト：UTA

新型コロナウイルス対策に追われ、日々の保育や行事の在り方も新型コロナウイルスを想定した新しい生活様式に変更を余技なくされています。

例年では、家族旅行や里帰りしたりと楽しく過ごす夏休みも今年は旅行をキャンセルしたり、他県へ出かけられず、子どもたちにとっても不自由な思いをし、夏休みも短縮され、8月後半から小中高校も2学期が始まりました。

コロナウイルス感染者ではないのに、心無い言葉を投げかけられたり、誹謗中傷で辛い思いをされている方々もおられます。

私たちは新型コロナウイルスとまだまだ付き合っていかなければなりません。今、私たちにできる事は何かを考えて、友だちや親族とも思うように会えない日々が続きますが、心と心でつながり合って、はげましあって乗り越えていきたいものですね。

子どもは指先や手を使う事が大切！

乳児期は手を使って世界を知ろうとします。

手に触れて物を叩いたり、ひっぱたり、投げたり、手に持った物を口にもっていってみたい。ひとつひとつ自分の身体で確かめるように身近な物の存在を認識していきます。

指先が使えるようになるにつれて、自分の意志で手に持った物や身近な物を動かそうとし始めます。自分の周りの世界を探索し、自分の手や指先を使って動かしてみることで、物の動きを学ぶ。手や指先を使っての活動は最初の冒険の始まりです。指先や手を使いこなせるようになることは、子ども自身の自我を育むことにもつながります。

握るからつまむへの成長

産まれたばかりの赤ちゃんは小さな握りこぶしをつくっています。握りこぶしの中に指を入れると新生児期の特徴で反射的にギュッと握ります。次第に手をパチパチさせるようになり、周りにあるものを掴もうとします。自分で周りにある物を掴めるようになると、角度を変えてみたり、舐めたり、転がしたり、振ったりしながら手に持った物の特徴を理解しようとし始めますが、大人にしてみたらそれは手に持った物で遊んでいるように感じます。



乳児期から 1 歳半頃

親指を巧みに使って物をしっかりと掴むではなくて、握るようになります。一度手に持った物を持ち替えたりしながら、二つの物を同時に扱うなど、手・指先の使い方がとても豊かになる時期です。



1 歳半頃～3 歳

手・手首・指先を自分の意志通りに扱えるようになると、自分自身で考えたことを形にしたいと思うようになります。

個人差はありますが、自分でご飯を食べようとしてみたり、大人の動作を見よう見まねで真似をしたり『ごっこ遊び』など自己主張が始まります。

思い通りに行かないことも出てきます。集中し根気よく挑戦する中で、クリエイティブな力は養われます。創造した物を形にすることができるおもちゃがこの頃から大活躍します。



～手先を使ってできる遊び～

《積み木》

積み木には様々な素材のものがあります。布製のものはまだまだ手先の器用ではない1歳頃から使って、つかむ、放す、重ねるといった基本動作の練習に、手指の器用さが高まったら木などの違う材質のものにしてみたり、丸や四角、三角などの様々な形や大きさのものを取り入れたり年齢や発達段階に応じて選ぶことができます。また手先の発達だけでなく、想像力や集中力の向上も期待できる遊びです。



《シール貼り》

シール貼りはおもちゃを使った遊びよりも繊細な指の動きを必要とし、指先を思い通りに使えるようになることを目的としています。貼ってはがせるシールブックもあるのでそういったものを利用するとよいかもしれません。



《紐通し》

“パーツをつなげて遊ぶタイプ”と穴に紐を通していく“ソーイングタイプ”があります。子どもの興味に合わせて選んであげると夢中で遊んでくれるでしょう。紐通しは年齢に合わせたもの、簡単すぎず難しすぎないものを与えましょう。集中力の向上も期待できます。



《手づかみ食べ》

手づかみで食べると服や部屋を汚してしまう可能性があるため、二の足を踏んでしまう親御さんも多いかもしれません。しかし、手づかみをする食材に直に触れることができます。固い、柔らかい、温かい、冷たいなどの感覚を体験することができます。指の発達の刺激になります。



《道具を持たせる》

ある程度指の発達が進んで来たら、道具を使うこともできるようになってきます。箸やハサミ、などが使えるようになると創作やできる活動の幅も広がり、巧緻性（指の器用さ）も高まります。ただし、ハサミなどを使うと危険度も高まりますので、安全には十分気を付けましょう。

